



人権文化の息づくまち・かめおかをめざして

亀岡市人権啓発だより 第65号

編集／発行：亀岡市生涯学習部人権啓発課
〒621-8501 亀岡市安町野々神8番地
TEL 25-5018
E-mail:jinken-keihatsu@city.kameoka.lg.jp

平和祭協賛 ヒューマンシネマ2022

8月を亀岡市は平和月間とし、京都府は人権強調月間としています。
全ての人がお互いを認め合い、幸せを感じながら生きることができる平和な社会は、みんなの願いです。命の尊さ、平和の大切さをあらためて考える機会として映画上映会を行います。ご友人やご家族などと一緒にご参加ください。



ヒロシマに一番電車が走った

10:00～上映(9:45開場)【人権啓発アニメ：32分】

原爆投下のわずか3日後、ヒロシマの街に路面電車が走り出しました。戦争に行った男たちに代わって車掌を務める少女たちは、傷つきながらも生き残った人々のために電車に乗り込みました。実在の少女を主人公に、風化させてはならない原爆の記憶をわかりやすく訴える物語です。



© 2019 Universal Studios. All Rights Reserved.



ペット2

10:40～上映【アニメ：86分】

「飼い主が留守にしている時、ペットたちはいったいどんなことをしているのでしょうか？」

誰もが一度は考えたことがあるペットたちの裏側の日常をユーモラスに描きだす、笑いと絆と感動の作品です。



©2018「こどもしょくどう」製作委員会



こどもしょくどう

13:30～上映(13:15開場)【93分】

豊かに見える現在の日本社会のひずみを受け、満足な食事をとることのできない子どもたちがいることをご存じでしょうか。そんな子どもたちのより所となる「子ども食堂」が、地域の新たなコミュニティの場として全国に広がっています。なぜ今子ども食堂が必要とされているのか・・・

「子ども食堂」が必要とされる現代社会を子どもの視点から描いた物語です。

※新型コロナウイルス感染症拡大の状況により定員を変更、または開催を延期・中止する場合があります。※マスクを着用のうえ、ご来場ください。

主催 / 亀岡市・亀岡市人権啓発推進協議会 問い合わせ先 / 亀岡市人権啓発課 TEL 25-5018

SDGs と 人権

SDGs と聞くと、どのようなことが思い浮かぶでしょうか？

近年は気候変動や海洋プラスチック汚染といった一地域では解決できない地球規模の課題が生じており、行政だけではなく、企業や個人など多様な人たちが連携することが求められています。本市においても、2030年までに使い捨てプラスチックごみゼロのまちを目指すなど、SDGs 達成のためさまざまな事業に取り組んでいます。

また、SDGs の取り組みは環境問題だけではなく、人権尊重の考え方と密接に関係していて、人権とは切っても切り離せない関係にあります。

そもそも SDGs って…？

SDGs (エスディーズ) :

Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)

2015年の国連サミットにおいて全ての加盟国が合意した「持続可能な開発のための2030アジェンダ」の中で掲げられたもので、2030年までに達成すべき17のゴールと169のターゲットで構成されています。

Sustainable は、持続可能な、ずっと続けていくことができるという意味を持つ言葉です。

全ての人が生きていける社会をつくらうとする取り組みだということがわかります。

「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現のため、採択されました。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



キーワードは
『誰一人取り残さない』

人権とのつながり

2030アジェンダには「誰一人取り残さない」「全ての人々の人権を実現する」と宣言されており、人権尊重の理念が基礎にあることを示しています。

内容はどれも「人が生きること」と関連しており、17のゴール全てが人権とかかわっています。

SDGs の前身である MDGs (ミレニアム開発目標) は、2001年に定められ、主に開発途上国向けの目標でしたが、SDGs は**全ての国が取り組むべき普遍的な目標**です。

各国政府の取り組みだけでは到底達成できる内容ではありません。

ひとりひとりが「誰かのことじゃない。自分のこととして」行動していくことが大切です。

それは、人権を尊重することにもつながっていきます。

私たちにできることは何か一緒に考えてみませんか？



人KEN まもる君 人KEN あゆみちゃん

人KEN イメージキャラクター

私たちにできる SDGs

- ・労働者としての権利を知る
- ・差別に声を上げる
- ・同一労働同一賃金を達成する
- ・多様な働き方を尊重する など

ユニバーサルデザインって？

ユニバーサルデザインとは

ユニバーサル (universal) = 普遍的な、全体の、という言葉が示しているように、「**全ての人のためのデザイン**」を意味し、年齢や障がいの有無などにかかわらず、最初からできるだけ多くの人々が利用可能であるようにデザインすることをいいます。

「バリアフリー」と「ユニバーサルデザイン」の違い

ユニバーサルデザインとよく似たものに「バリアフリー」という言葉があります。ユニバーサルデザインと異なる点は何でしょうか。

■ **バリアフリー**：特定の人にとってバリア（障壁）になっているものを取り除く。

■ **ユニバーサルデザイン**：初めから全ての人にとって、利用しやすいように考える。

バリアフリーとは違い、対象者を限定していないところが特徴です。バリアフリーとユニバーサルデザインを兼ねている場合もあります。

スロープは、車椅子を利用していなくても、荷物を運ぶときにも活躍しますよね。

なぜユニバーサルデザインが大切なのか

少子高齢化や国際化、価値観の多様化が進んでいる中で、子どもやお年寄り、からだの不自由な人、妊婦さんなど、全ての人々が笑顔で安全に安心して暮らせる環境が求められています。

だからこそ、ユニバーサルデザインの視点に立った社会づくりが必要なのです。

これも
そうなの？!

いろんな人が
一緒に暮らすには
環境づくりが
大切ですね

ユニバーサルデザインの良いところ

- ・誰が見てもわかりやすい
- ・使用方法が初めてでも感覚的にわかりやすい
- ・人それぞれに合った使い方ができる
(多目的トイレ、スロープなど)

身近なユニバーサルデザイン

UD フォント (Universal Design フォント) :

見やすく読みやすいように工夫された書体です。この広報紙「きずな」も UD フォントを使用しています。

エレベーターの中に設置された鏡 :

実はこれもユニバーサルデザインです。ベビーカーや車いすを使って後ろ向きに降りるときに、背後を確認できます。ほかにも圧迫感をやわらげたり、さまざまな使い道が考えられますね。市役所内のエレベーターにも設置されています。



ピクトグラム :

見るだけでわかりやすい記号です。東京オリンピック開会式のパフォーマンスでも話題になりましたね。



市役所 1 階に設置された看板

みんなが見やすいホームページ :

だれにとっても、より便利で分かりやすく、また亀岡市の魅力が伝わるよう、市公式ホームページを令和3年10月にリニューアルしました。音声ブラウザ利用への配慮や外国語への対応も行っています。AIチャットボットを使って情報を絞り込んでいくこともできます。

あなたの身の回りにもユニバーサルデザインがあふれているはず。ぜひ探してみてくださいね。



ちょっと考えてみませんかシリーズ№28

～自分も相手も大切にするコミュニケーション方法「アサーション」～

友人から興味のないグループのライブに誘われてしまいました。音楽の好み合わないので、正直楽しむ自信がありません。相手にどう伝えますか？



前から言っているけど、私はうるさい音楽が好きじゃないの！苦手だって言っているでしょ！絶対に行くことはないから！

私が好きじゃないのを知っているのにしつこいなあ。

→強引に一方的に断る



……(黙って参加する)

ここで断ると機嫌が悪くなってしまうかもしれないし、自分が我慢すれば丸く収まるかな…

→もめごとを避けるために従う



誘ってくれてありがとう。でも私はやっぱり苦手なの。今回は一緒に行けないわ。次は二人とも楽しめるものを探して、一緒に遊びましょう。

休日は静かな音楽を聴いてゆっくり過ごしたいな。2人で一緒に楽しめるものを探したいな。

→素直な気持ちを正直に言って断る

どれにあてはまったでしょうか。趣味の違いは、友達でも夫婦でもよくあることです。そのときに大切なのは、自分の意見をお互いが言えたり、相談して決めたりできる平等な関係であることです。

①のような相手を攻撃するような言い方や、②のように相手との関係に波風を立てないようにじっと我慢する姿勢を続けると、相手や自分にストレスをかけ、ゆくゆくは人間関係をギクシャクさせてしまうかもしれません。

自分も相手も大切にしたい自己表現やコミュニケーションのことを「アサーション」といいます。意見が一致しない場合にも考えや気持ちを伝え、聴き合って、双方にとって納得のいく結論を出そうとするものです。

よりよい人間関係を築くために、相手の気持ちを尊重しながら、自分の思いを伝える「アサーション」を、日常の会話の中に取り入れてみてはいかがでしょうか。

～ 中部地区同和教育推進協議会総会・記念講演 ～

亀岡市では、人権問題の解決や人権意識の普及のため、市内を7つの地域に分けて人権啓発・同和教育推進協議会が結成されています。5月から6月にかけて各協議会の総会・研修会が行われ、参加者が学びを深める機会となりました。

6月4日(土) 中部地区同和教育推進協議会 第48回総会・記念講演が、ギャラリーかめおかで開催されました。

2022年は全国水平社創立100周年の年であり、「水平社宣言」の朗読と「マイバラード」の合唱後、一般社団法人 部落解放・人権研究所名誉理事の友永健三さんをお迎えし、「水平社宣言から学ぶ」と題して記念講演が行われました。

参加者からは、「水平社宣言をわかりやすく教えてもらった」という感想が多数あったほか、「マイバラードの合唱であたたかい雰囲気となった」という声もありました。

「水平社宣言」100年という記念すべき節目に、当時の時代背景や人々の思い、宣言に込められた意義等を学ぶ良い機会となりました。



記念講演「水平社宣言から学ぶ」
(講師：友永健三さん)



合唱「マイバラード」